

# LA CIMBALI

## ELECTIVE

### 使用と設置

取扱説明書原文の翻訳



コード 980-112-010 (改訂 1935)



本マニュアルの最新の電子版は、ページ下に記載されているリンク先に認証情報を使用してアクセスするとご覧いただけます。



<https://order.gruppocimbali.com/explorer/spareparts/page/login>

User ID: guest  
PW: Entr@nc3



Please sign in

guest

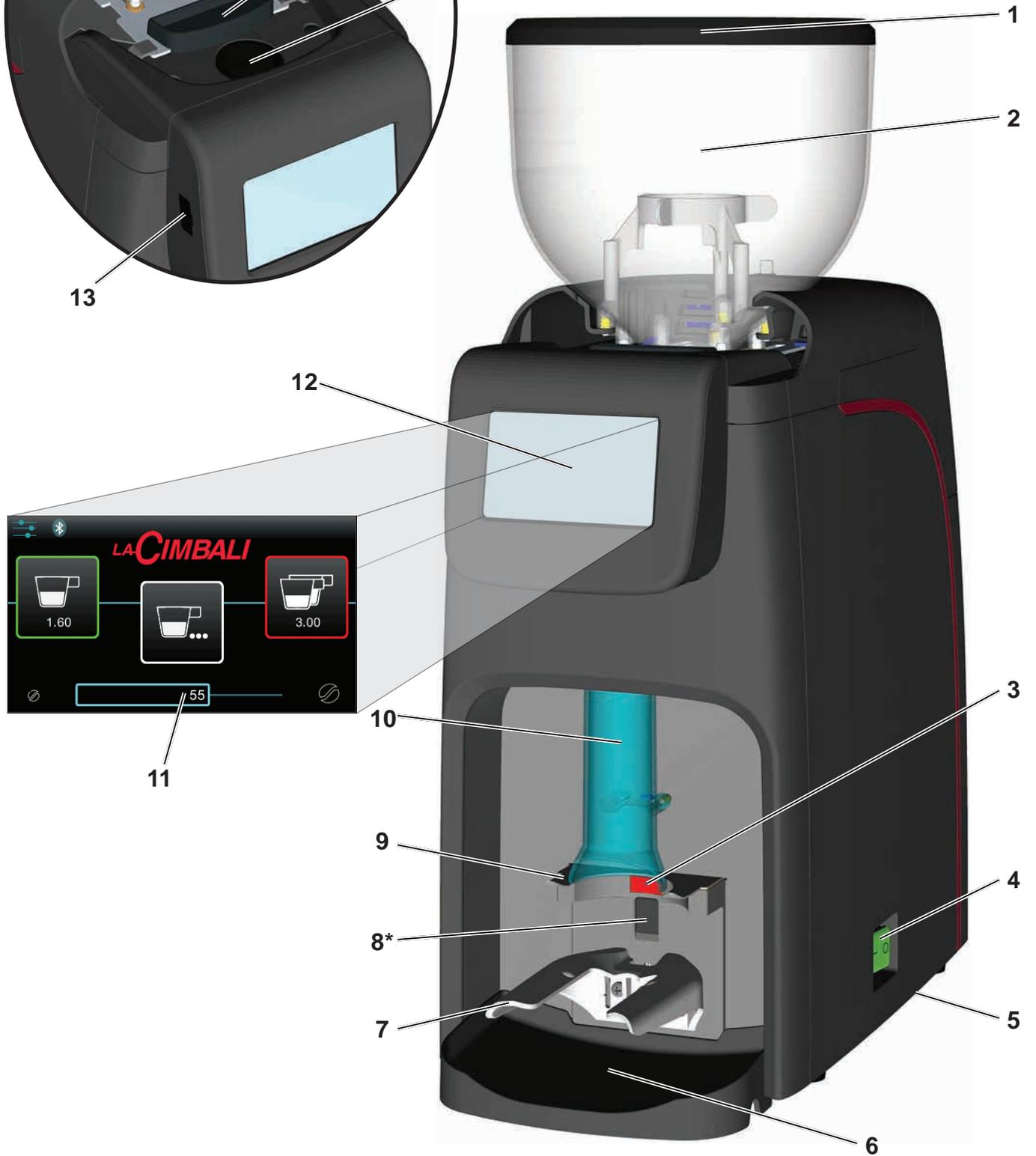
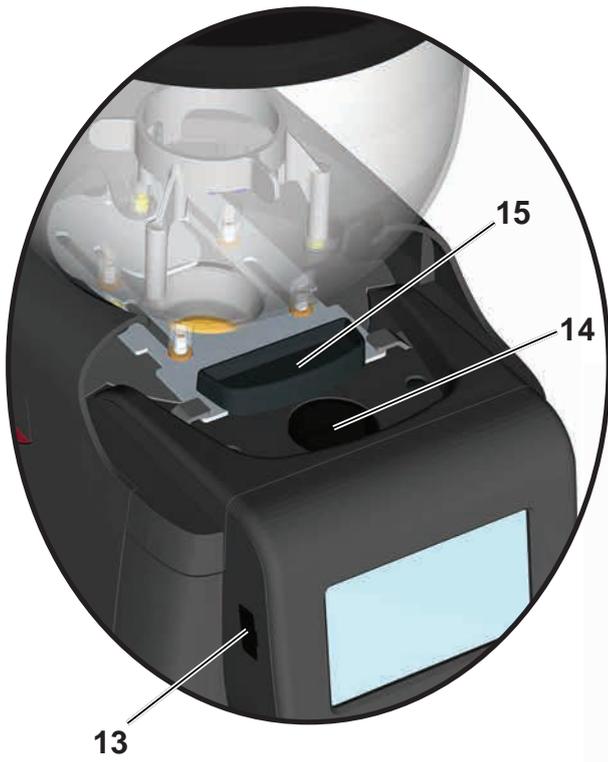
.....

Sign in

	ページ		ページ
1. 総則.....	5		
2.1 輸送および取り扱い.....	6		
2.2 設置規則.....	7		
3. 電氣的設置規則.....	7		
4. ホッパーの位置決め.....	7		
5. 注意.....	8		
6. メンテナンスと修理.....	8		
7. マシンの分解.....	9		
		使用	
		8. データフローチャート.....	10
		9. 作業用設定.....	11
		説明表示記号.....	12
		10. グラインドの調整.....	13
		11. グラインドされたコーヒーの除去.....	14
		필터 홀더에서 분쇄 커피의 위치.....	15
		11.1 グラインドされたコーヒーの分配とプレス.....	16
		ユーザー メニュー	
		12. 手順.....	18
		事前選択.....	18
		カウンター.....	18
		スクリーン セーバー.....	19
		分量 - テスト.....	21
		オーディオ.....	21
		グラインダー クリーニング.....	21
		プレスディスクのクリーニング.....	21
		13. BDS - バリスタ駆動システム - (技術スタッフにより起動できます).....	22
		14. クリーニング作業.....	23
		コーヒー豆容器のクリーニング.....	23
		センサー (適用可能な場合).....	24
		プレスディスクのクリーニング.....	24
		グラインドされたコーヒーのダクト.....	25
		グラインドされたコーヒー用シュート.....	25
		グラインダー クリーニング.....	26
		15. 洗淨に関する.....	27
		16. 欠陥 - 不具合.....	28
		サービスライン.....	28

ELECTIVE

日本語

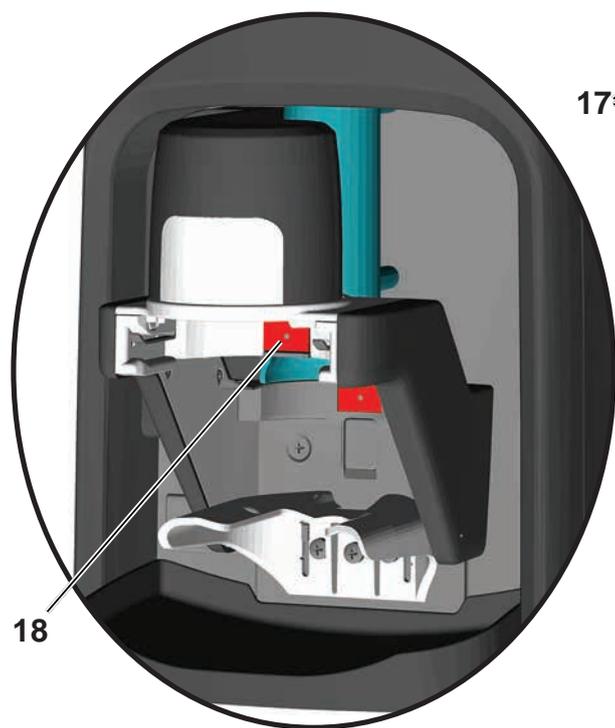


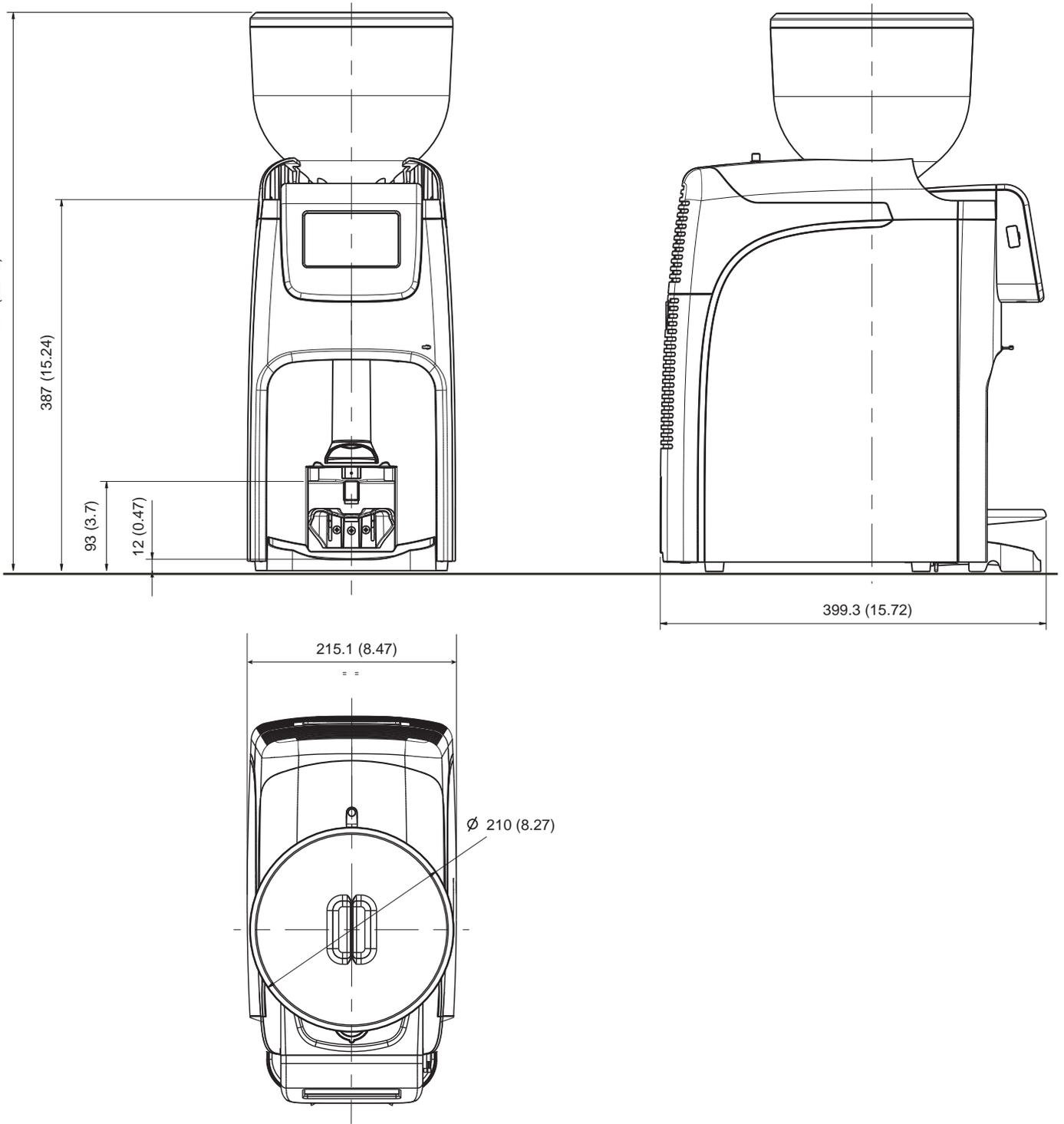
**ELECTIVE TAMPER**

凡例

- 1 容器蓋
- 2 コーヒー豆の容器
- 3 フィルタホルダー存在検知センサー
- 4 オンオフスイッチ
- 5 データラベル
- 6 グラインドされたコーヒーの収集トレイ
- 7 フィルタバスケットブラケット
- 8\* フィルタホルダー認識センサー
- 9 金属サポートフォーク
- 10 グラインドされたコーヒーのダクト
- 11 グラインド参照用インジケータライト
- 12 [タッチスクリーン] ディスプレイ
- 13 USBポート
- 14 コーヒーダクト検査キャップ
- 15 容器ドア
- 16\* コーヒータンパー
- 17\* フィルターホルダーガイド(コーヒーのプレス)
- 18\* フィルタホルダー存在検知センサー(コーヒーのプレス)

コンポーネント - \* - は一部の製品の構成のみに適用されます





記号



一般的な警告



警告:電氣的な危険



警告:手を挟む危険があります



警告:高温の表面



環境保護



取扱説明書のこれらのページは、マシンを操作する人を対象にしたものです。



取扱説明書のこれらのページは、認可を受けた有資格技術担当者を対象にしたものです。



## 1. 総則



マシンを使用または取り扱う前に、このユーザーマニュアルの警告および規則を注意深くお読みください。これは、マシンを操作する時の安全と衛生に関する重要な情報を提供するものです。簡単に参照できるように、この小冊子を手元に置いておいてください。

- このマシンはコーヒー豆をグラインドするため、およびエスプレッソコーヒーマシン用にグラインドされたコーヒーの分量を計るために使用されます。その他の使用はすべて非正規な使用と見なされます。
- マシンは、その使用に伴う危険を理解しており、しっかりしたトレーニングを受けたスタッフのみが使用できる場所に設置しなければなりません。
- マシンはプロによる使用専用です。
- この機器の安全な使用に関する監督を受けるか、あるいはその指示を受けることができ、かつそれに伴う危険性を理解できる場合、8歳以上の子ども、ならびに身体的、知覚的、または精神的能力が低下している人、あるいは経験と知識が不足している人でもこの機器を使用できます。  
子どもはこの機器で遊んではいけません。  
監督なしで子どもがクリーニングおよびユーザーメンテナンスをしてはいけません。  
未成年者が使用する場合、成人の監督があるなしにかかわらず、地元の雇用法に違反してはいけません。
- マシンの使用中は必ずだれかがそこにいるようにしてください。
- マシンを戶外で使用してはいけません。
- 大気中の物質 (雨、太陽、および寒さ) にマシンをさらさないでください。
- 噴流でマシンをクリーニングしないでください。
- 騒音: 装置は70dBを超えません。
- 電源コードが破損した場合、認可された有資格技術者のみ交換することができます。
- マシンの使用が不適切である場合、あるいは上記以外の目的のために使用した場合、危険の原因になることがあります。メーカーは、マシンの使用が不適切であるために引き起こされた損害に対して責任を負いません。



### 警告

設置、分解、および調整は、認可された有資格技術者が行わなければなりません。

このマニュアルの警告および規則は、マシンの安全な設置、使用およびメンテナンスに関する重要な情報を提供するものですので、注意深くお読みください。

簡単に参照できるように、この小冊子を手元に置いておいてください。

## 2.1 輸送および取り扱い

### 梱包

- マシンは適切な内部保護が付いた頑丈な段ボールのパッケージで配達されます。パッケージには、マシンの取り扱いおよび保管時に従うべき規則を示す標準的な記号が使用されています。
- パッケージの指示に従って輸送する必要があります。また、細心の注意を払って取り扱い、いかなる種類の衝撃も避けなければなりません。
- 大気中の物質（雨、太陽、および寒さ）にマシンをさらさないでください。

### 受領時の確認

- マシンの受領時に、輸送書類がすべて正確であることを注意深くチェックしてください（パッケージのラベルと照らし合わせる）。
- オリジナルの梱包が破損していないことをチェックしてください。
- 梱包用材料からマシンを取り出した後、マシンとその安全装置が完全な状態であることを確かめてください。
- 梱包材料（ビニール袋、ポリスチレン発泡体、ステープルなど）は潜在的な危険性があるので、子どもの手が届かないようにしておいてください。

### 梱包材料の廃棄に関するアドバイス



梱包材料はエコ対応でリサイクル可能です。環境保護のため梱包材料は単なるゴミとして捨ててはいけません。地元の規則に従い回収/廃棄物処理センターに持ち込んでください。

### 取り扱い



マシンの移動責任者は、重量物を移動させることに伴う危険を熟知している必要があります。

マシンを注意深く移動させます。可能な場合は適切なリフティング機具を使用してください（フォークリフトなど）。

手でマシンを移動させる場合は、以下を確認してください。

- マシンの重量、および困難な取り扱いに応じて、この移動に十分な人数の人が作業できること。
- 必要な安全保護具（靴/手袋）を常に使用すること。



## 2.2 設置規則

- 機器のプラグを入れる前に、銘板上の情報（電圧など）が電気システムのそれと一致することを確認めます。
- 電源コードの状態をチェックします。破損している場合、交換しなければなりません。
- 完全に、電源ケーブルを伸ばします。
- 機器は水平で安定した表面の上に置く必要があります。
- 室温は10°C～32°C (50°F～90°F) の範囲でなければなりません。
- 電気コンセントがすぐ近くになければなりません。
- 噴流で清掃される部屋（台所）には、マシンを設置しないでください。
- 開口部、換気部、および排熱部を塞がないでください。
- マシンを戸外に設置しないでください。
- 爆発の危険性がある環境の中でマシンを設置したり使用したりしないでください。
- 可燃性の物質があるところにマシンを設置しないでください。



### 3. 電氣的設置規則

設置に先立ち、接触部の間に回路遮断器が設置されていることを確かめてください。これはカテゴリIIIの過負荷があった場合に完全に切断することができ、30mAの漏電から保護するものです。設置規則に従って電源に回路遮断器を設置する必要があります。

施行されている電気に関する法律に従って機能している接地システムに正確に接続されている場合にのみ、このマシンの電氣的な安全が保証されます。この基本的な安全要件を確認しなければなりません。疑問がある場合は、有資格電気技術者にシステムの検査を依頼してください。メーカーは、電源の接地システムを使用しないことにより発生する損害に責任を負いません。

アダプター、複数のプラグ、延長コードを使用しないでください。

接続のタイプおよび電圧が銘板の情報に一致するかどうかチェックしてください。

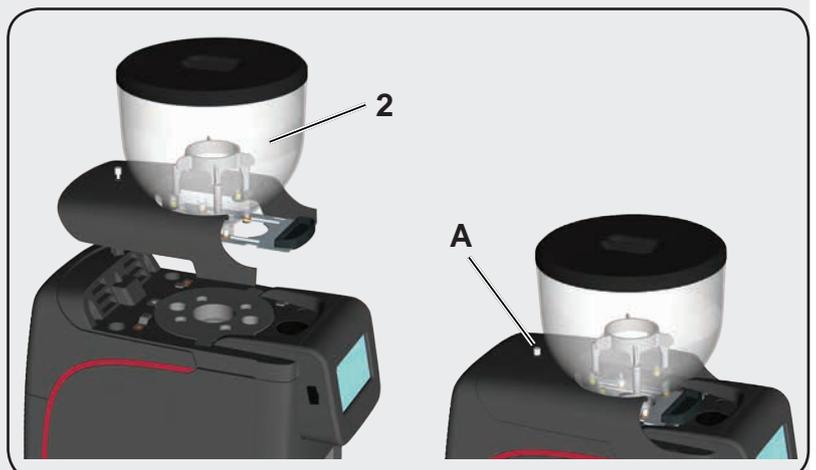
### 4. ホッパーの位置決め

梱包用材料を取り除いた後で、容器(2)をグラインダー上に置き、リングナット(A)を使用して固定します。

備考: ホッパーはシャッターが閉じている場合にのみ移動したり位置決めをすることができます。



グラインダーは、リングナット(A)が完全に締め付けられた後でのみ機能します。





## 5. 注意

### 全般

メーカーは、機器の不適切な使用、または機器に意図された目的以外に機器を使用することにより物品または人へ損害が生じた場合は、その責任からすべて免責されるものとします。

濡れた手や裸足で機器を操作しないでください。

子ども、あるいは正しい使用方法について指示を受けていない人が機器を使用することがないようにしてください。

### コーヒーの保管

常に新鮮なコーヒー豆を使用してください。コーヒー豆は瓶または防水性のある密封されたバッグに保管してください。光源からは引き離し、涼しくて乾燥した場所に保管してください。

営業日の終了時点で分量器に入っているすべてのコーヒーを使いきるようにしてください。そうでないと、コーヒーが芳香を失って、だめになる可能性があります。



### マシンの片付け

マシンが長時間 (例えば何時間も) 放置されていた場合、

以下の手順を実行してください。

- コーヒー豆容器を空にします。
- 関連の章に指示されている通りにクリーニングを行ってください。
- プラグを外すか、あるいはメインスイッチをオフにします。

これらの安全対策が遵守されない場合、不具合、器物の破損、および/もしくは身体の負傷に対するすべての責任からメーカーは免責されるものとします。

## 6. メンテナンスと修理

マシンが適切に作動しない場合は、マシンを止め、メインスイッチをオフにし、サービスセンターに電話をしてください。

電源コードが破損している場合は、マシンのスイッチを切り、サービスセンターに交換を依頼してください。



操作中の安全を確保するためには、必ず以下の作業をおこなう必要があります。

- メーカーのすべての指示に従う。
- 認可を受けた有資格技術者に、定期的に安全装置がすべて完全に適切に機能していることをチェックしてもらおう (購入から3年以内に最初の検査を行い、その後は毎年行う)。



### 警告

無資格の人によるメンテナンスは、マシンの安全性および適格性を危険にさらすことがあります。

修理は、有資格の認可された技術者だけが行うようにしてください。

### 警告

メーカーが保証した純正スペアパーツのみを使用してください。

純正スペアパーツを使用しない場合、メーカーの保証が失効します。



## 7. マシンの分解

電気機器は通常的一般廃棄物として処分することができません。

環境を保護するため、地域の現行法に従って解体してください。



適切に分別して廃棄物を処理してください。これにより、マシンを環境に優しい方法でリサイクル、処理、処分することができます。

これにより、環境と健康に対する悪影響を回避し、マシンの製造用素材の再利用やリサイクルを促進します。

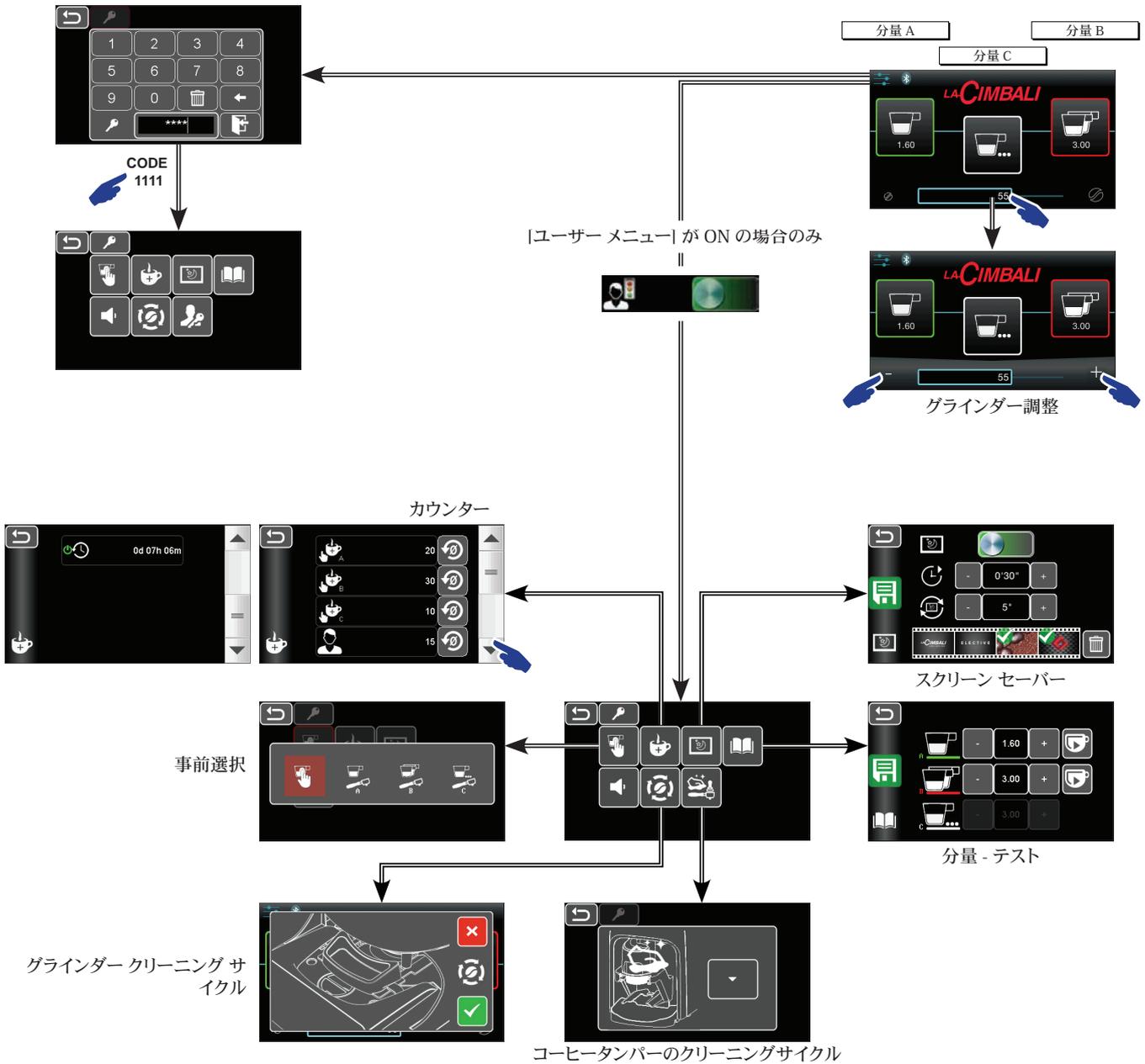
現行法に準拠せず、不適切な方法で電気機器を処分すると、行政上の罰金および刑事上の制裁を受けることになります。



# 使用

## 8. データフローチャート

日本語



- 希望のアイコンを押してアイテムを選択してください。
-  アイコンを押して値に行われた変更を確認します
-  アイコンを押して値をそのままにしておくか、あるいは前の画面に戻ってください。

- 数秒間何も動作がないとメイン画面が表示されます





## 9. 作業用設定

### 事前の操作

コーヒー豆の容器 (2) がグラインダー/ディスペンサーに正しく位置決めされているかどうかチェックします。蓋 (1) を持ち上げコーヒー豆を入れます。

シャッター (15) を内側に押して開いているかどうかチェックします。

 グラインダーは、リングナット(A)が完全に締め付けられた後でのみ機能します。

### スイッチオン - 全般的な指示

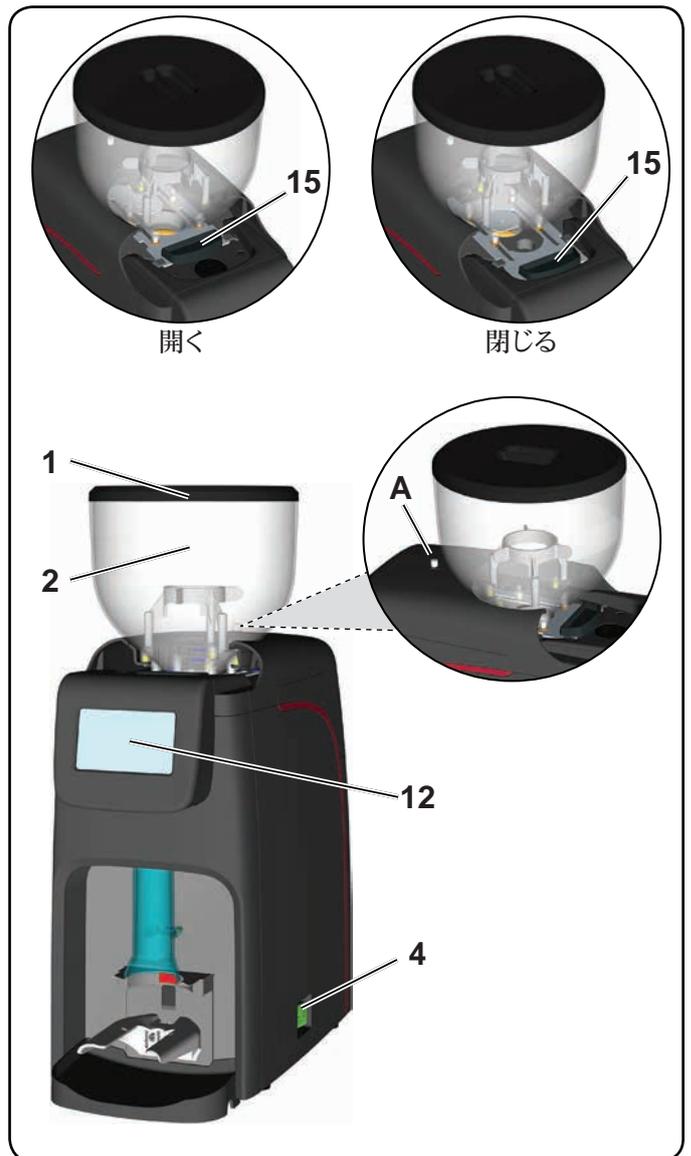
 「機器のスイッチをオンにする前に、必ずメインスイッチをオンにしてしてください。」

スイッチ (4) を位置「1」に設定して機器を始動してください。

グラインダー/ディスペンサーがオンになっていると、ディスプレイ (12) にメイン画面が表示されます。



営業日の終わりにメインスイッチ (4) を「0」の位置に設定して機器をオフにします。



### ディスプレイの輝度

一定の期間何も動作がないとディスプレイの輝度が落ちます。最初は30分間何も動作がない時に、そしてその後は60分間何も動作がない時に再度落ちます。フル輝度は最初の使用時に再開します。



100 %



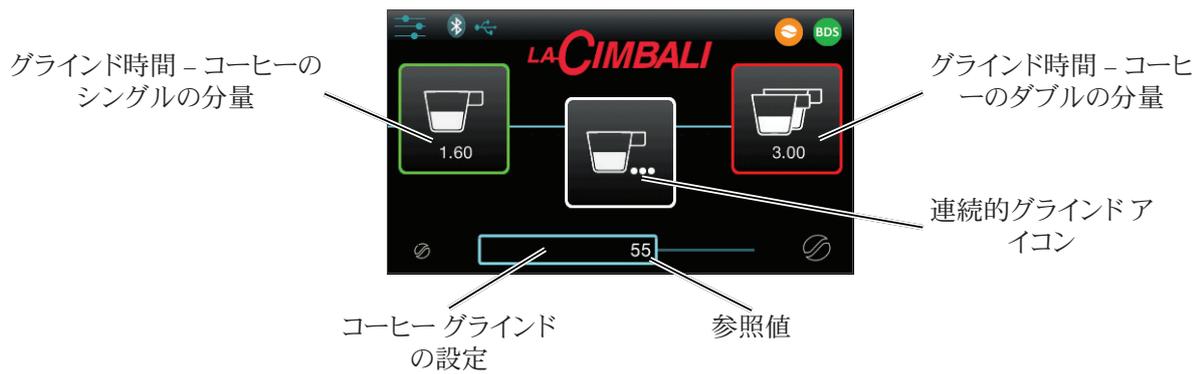
30分後



60分後



## 説明表示記号



コーヒーの分量に設定された時間がディスプレイ (12) およびバーに表示され、グラインドの設定とそれぞれの参照値が示されます。

- Bluetooth 接続シンボル: BLUE (青) = Bluetooth ネットワークに接続済み
- USB ポートが存在
- コーヒーなし
- BDS (パリストライビングシステム) シンボル: 緑 = システムがスタンバイ
- BDS (パリストライビングシステム) シンボル: 赤 = グラインダー/ディスペンサーがロック済み
- メンテナンス時期
- 警告シンボル: 固定用マイクロリングナットが緩んでいる、またはモーターが過熱保護されている
- 警告シンボル: エラーコード



備考: 分量アイコン 、、 は技術スタッフがカスタマイズできます。



例 1

左: シングル分量、緑。  
右: ダブル分量、赤。  
中央: 連続的グラインド、白。



例 2

左: ダブル分量、黄色。  
右: 連続的グラインド、白。  
中央: シングル分量、青。



## 10. グラインドの調整



ユーザーモードでのグラインダーの手動調整は技術スタッフのアクティベーション後にのみ可能です。

1

グラインド設定バーの関連するポイントを数秒間長押ししてください。

2

(-) を押すと細かいグラインドが行われ、(+) を押すと粗いグラインドが行われます。

ユーザーモードでのグラインダーの手動調整は、以下の場合はできません。

1

「ユーザーメニュー」が有効化されていない場合  
バーを押すとロックのシンボルが現れます .

2

Bluetooth経由のグラインドコントロールが有効化されている場合  
バーを押すとシンボルが現れます .



# 11. グラインドされたコーヒーの除去

計量グラインダーは、以下の2つの異なるコーヒーの引き出しモードで設定できます。

## 「手動」操作

1

7

10

コーヒーマシンのフィルタホルダーをフォーク(7)の上に置きます。

2

事前選択された分量 (1.00、1.50 または 3.00) をタッチスクリーンのアイコンを押すことで選択します。グラインダー/ディスペンサーは分量に設定された時間の間アクティブになり、グラインドされたコーヒーがシュート(10)から落ちてきます。グラインドは自動的に止まります。備考: グラインドは関連のアイコンが押されている間 (1.00、1.50、3.00) (銘板に示された最大アクティベーション時間の間) 継続的に行われます。

## 「事前選択」の操作

1

選択されたアイコンがディスプレイで点滅し事前選択を表示します。

この例では、シングル分量が事前選択されています。他の分量に対応するアイコンは点灯していません。

2

7

10

コーヒーマシンのフィルタホルダーをフォーク(7)の上に置きます。計量グラインダーが設定された計量時間の間、動作し、グラインドされたコーヒーがシュート(10)から落ちてきます。グラインドは自動的に止まります。フィルタホルダーの位置決めをする前に、ディスプレイの関連のアイコンを選択することで異なる分量を選択できます。

注: グラインドのサイクルは、タッチスクリーンを押すことで、設定されたグラインド時間よりも早く停止することができます。

## コーヒーなし (適用可能な場合)

1

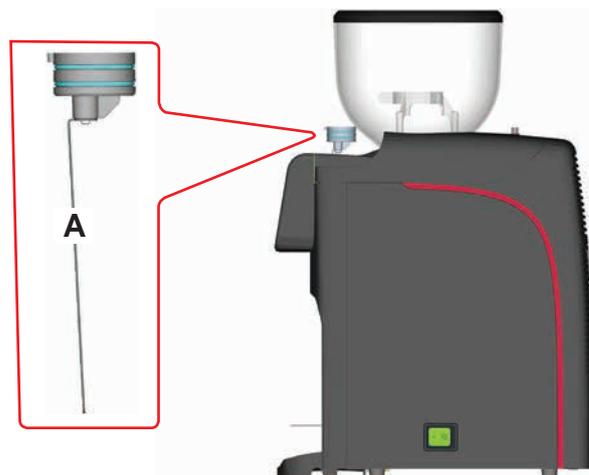
ホッパーにコーヒー豆がないことは、専用のポップアップで示されます。

2

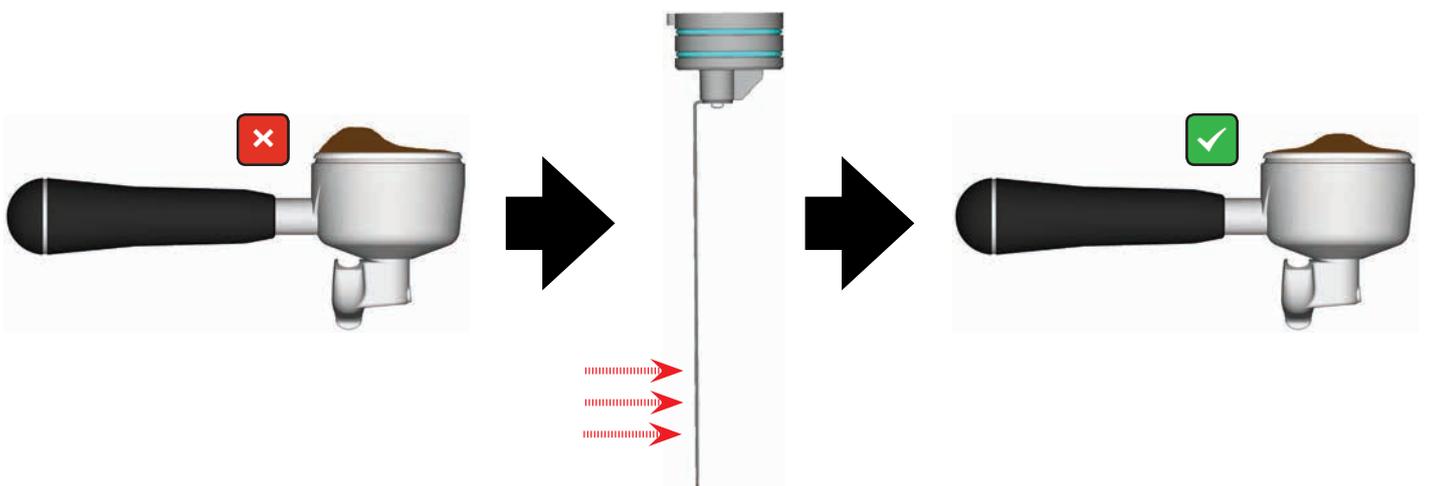
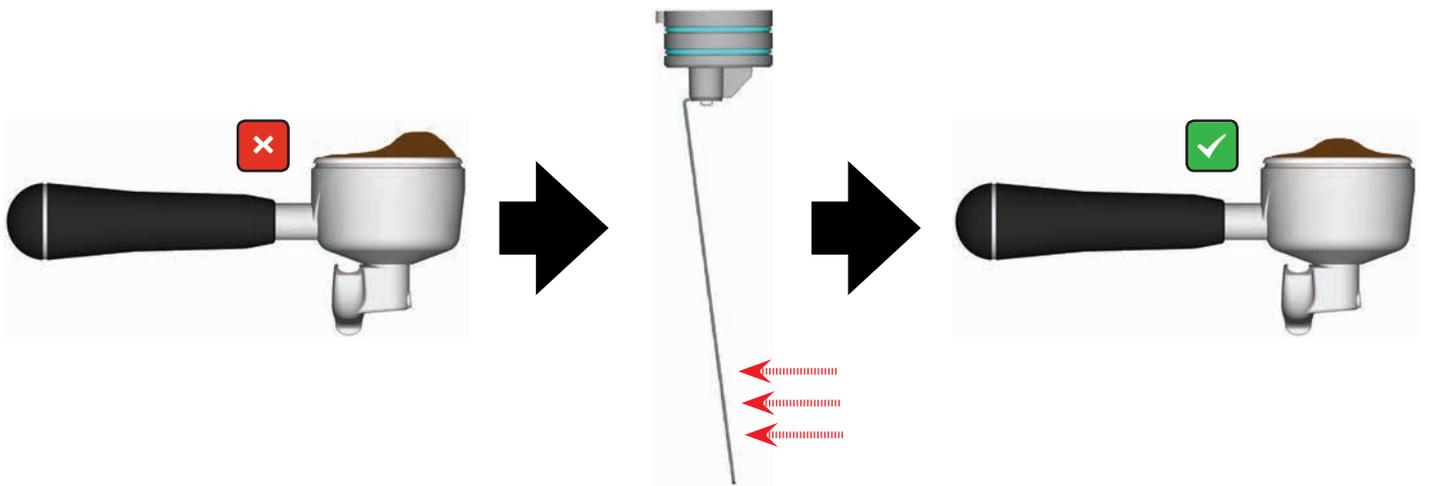
ディスプレイを押すと、警告 (☹️) が最小化され、分量を少し増やして分配することが可能になります。



フィルターホルダーのコーヒー粉の位置



コーヒー粉がフィルターホルダーの中心に落ちていかない場合、金属製ディストリビュータを下図のように手で調整する必要があります (A):





11.1 グラインドされたコーヒーの分配とプレス (ハンドヘルドプレスディスクがあるバージョンのみ)

ハンドヘルドプレスディスク付きグラインダー/ディスペンサーがオンデマンドの機能に追加されました。これにより、均一かつ最適な方法でグラインドされたコーヒーを自動的にプレスすることができます。

「手動」と「事前選択」の操作モードは、オンデマンドグラインダー/ディスペンサーのものと同じです。

**1**

コーヒーマシンのフィルターホルダーをフォーク (7) に配置すると、作業領域が点灯します。

**2**

グラインド段階が完了すると (手動または事前選択で)、作業領域が点滅し操作を図解するアニメーションがディスプレイ上に現れます (\*).

(\*):アニメーションは技術スタッフがプレスを無効化していない場合のみ表示されます。

**3**

フィルターホルダーをフォーク (7) から取り外し、ハンドヘルドプレスディスクの下のガイド (17) に挿入します。

備考。プレス段階に進む前にフィルター内のグラインドされたコーヒーを水平にしてください。

**4**

存在検知センサーがフィルターホルダーを検知し、プレスが自動的にスタートします。次のアニメーションがディスプレイに表示されます。

**5**

プレス段階の完了後、フィルターホルダーをガイド (17) から取り外し、それをコーヒーマシンに引っかけて分配に進みます。



「プレスのみ」の機能

ハンドヘルドプレスディスクの付いたグラインダー/ディスペンサーにより、事前にグラインドを行わなくてもグラインドされたコーヒーをプレスすることができます。  
この機能は、例えば、マシンの隣に複数のグラインダー/ディスペンサーがある場合や、コーヒー粉をフィルターホルダーに注ぎ込んでプレスする必要がある場合に役に立ちます。

1

17

コーヒーの入ったフィルターホルダーを挿入して、ハンドヘルドプレスディスクの下にあるガイド (17) に押し込みます。

備考。プレス段階に進む前にフィルター内のグラインドされたコーヒーを水平にしてください。

2

プレゼンス センサーがフィルタ ホルダーを検出します。プレスが自動的に開始し、下記のアニメーションがディスプレイに現れます。

適用されるプレスのレベルは中央値に設定され、アイコンの色によって示されます。

3

17

プレス段階が完了したら、フィルターホルダーをガイド (17) から取り外し、それをコーヒーマシンに引っかけて分配に進みます。

**注** プレスの異なるレベルは技術スタッフが設定できます (およそ 10 ÷ 30 kg の間で変更可能)。

日本語



# ユーザーメニュー

## 12. 手順

以下のアイテムはいずれも、「ユーザーメニュー」アイテムが有効化されている場合にのみ表示されます。  
カスタマーメニューで(緑の背景 = ON) (技術スタッフにより設定可能)。



アイコンを押し、ユーザーメニューにアクセスします。

ユーザーメニューが有効化されていないと、パスワードを使用してプログラムモードにアクセスできます。1111 が工場出荷時のパスワードです。  
パスワードは下記の通り変更できます。

1

デフォルトのパスワードを入力してください。

2

アイコンを押します。

3

新しいパスワードを入力してください。

### 事前選択

1

アイコンを押します。

2

タイプの選択:  
オプションから、フィルタホルダーが位置決めされた後で。

- シングル分量 が、フィルタホルダーが位置決めされた直後に分配されます。
- ダブル分量 が、フィルタホルダーが位置決めされた直後に分配されます。
- グラインドが フィルタホルダーが位置決めされた後で継続されます。

### カウンター

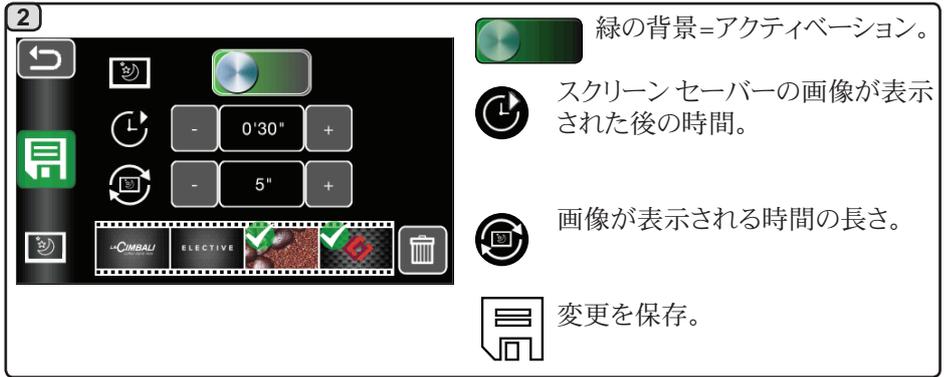
1

アイコンを押します。

2

順番:分量 、分量 、分量 、合計分量、スイッチオンの時間。  
カウンターは アイコンを数秒間長押しすることでリセットできます。

日本語

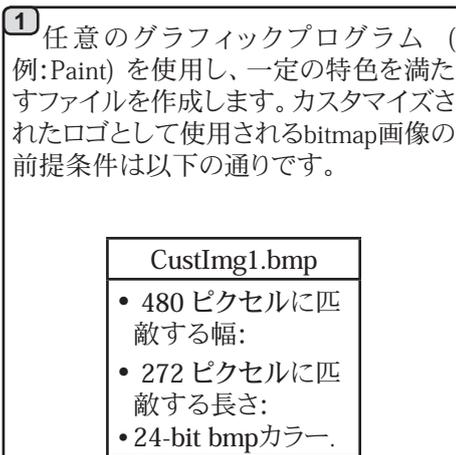


### スクリーンセーバー-ロゴ

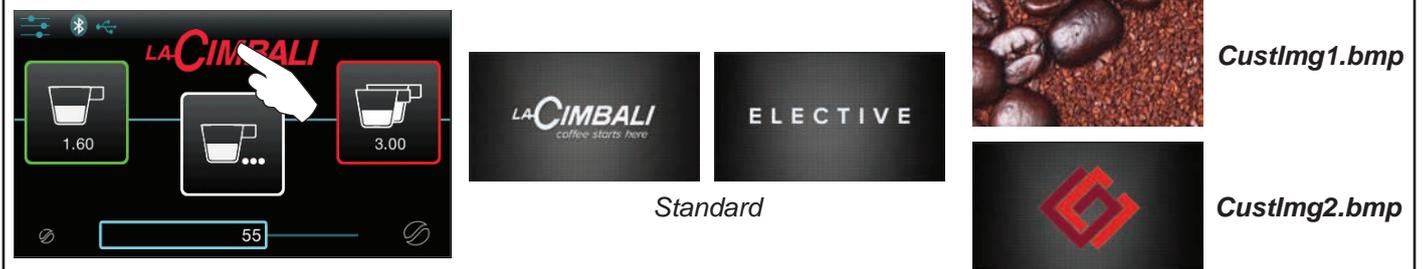
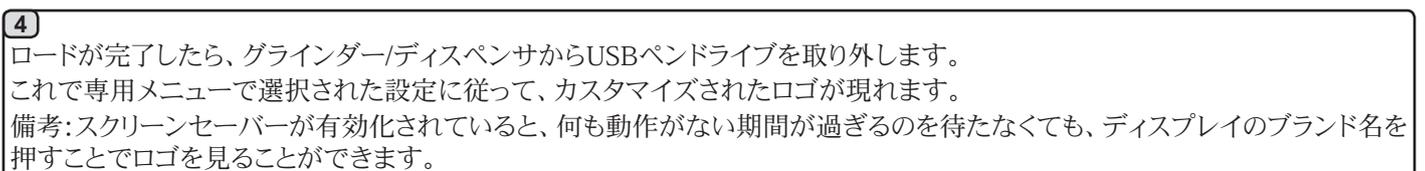
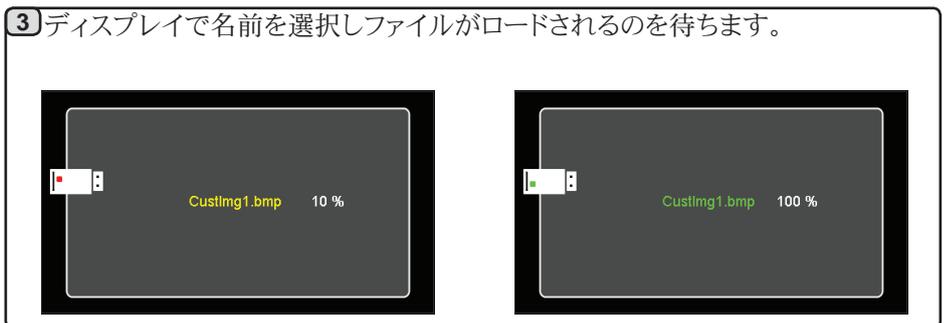
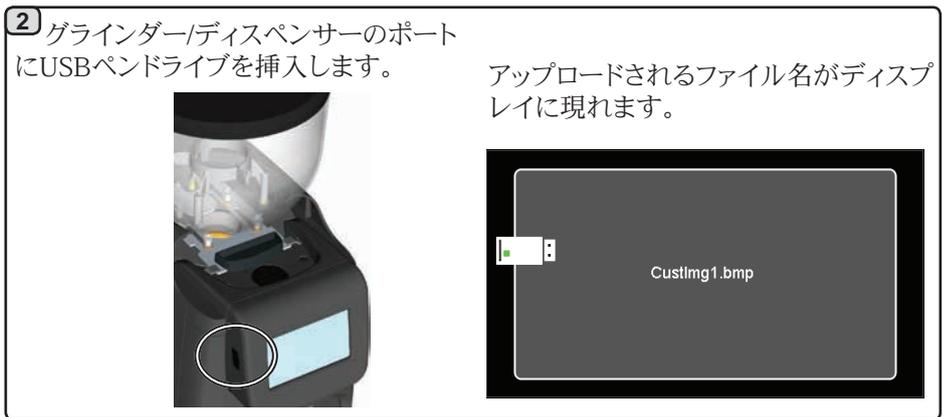
一定の期間 (この期間は「スクリーンセーバー」メニューで定義できます) 何も動作がないと、標準の Cimbali のロゴがグラインダー/ディスペンサーに表示されます。グラインダー/ディスペンサーには写真に示されているようなロゴが付いています。

ユーザーはさらに (1つか2つ) の個別化されたロゴをディスプレイに追加できます。

カスタマイズロゴを作成するには、以下の手順に従ってください。



表示したい「CustImg1.bmp」およびもしくは「CustImg2.bmp」のファイルを USB ペンドライブにコピーします。





## スクリーンセーバー - カスタマイズされたロゴの管理:表示

ユーザーがロードとしたカスタマイズしたロゴ（「CustImg1.bmp」および/もしくは「CustImg2.bmp」）をスクリーンセーバーとして表示するには、画像がレ点 $\checkmark$ と関連している必要があります。

逆に、ロゴが「X」 $\otimes$ の記号を持っていると、ディスプレイには表示されません。レ点 $\checkmark$ と「X」 $\otimes$ の記号を切り替えるには、画像を押すだけで十分です。



CustImg1.bmp



CustImg2.bmp

説明のため、いくつかの例が下記に示されています。

1

標準的なロゴのみが存在し表示されています。

2

標準的なロゴとカスタマイズされたロゴが存在し表示されています。

3

標準的なロゴとカスタマイズされたロゴが存在し、標準的なロゴのみが表示されています。

## スクリーンセーバー - カスタマイズされたロゴの管理:キャンセル

ユーザーによってロードされたカスタマイズされたロゴを取り除くには（「CustImg1.bmp」および/もしくは「CustImg2.bmp」）、以下の指示のように進みます。

1

スクリーンセーバーのメニューに行きアイコン $\otimes$ を押します。

2

キャンセルしたい画像を押します。

3

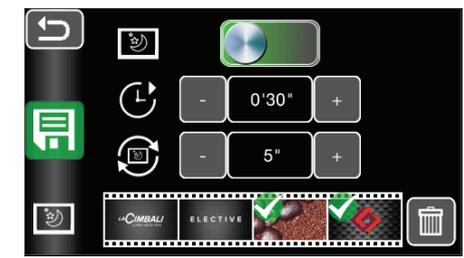
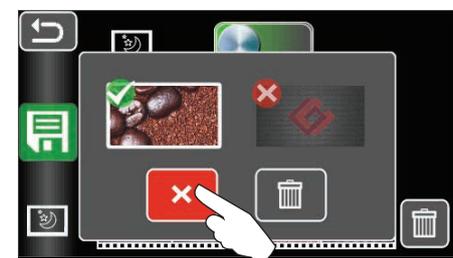
選択すると画像がはっきり現れて、レ点 $\checkmark$ と関連付けられます。

4

アイコン $\otimes$ を押します。待機中のシンボルが少しの間現れて選択された画像がキャンセルされます。



備考:アイコン $\otimes$ を押して操作を取り消し、スクリーンセーバーのメニューに戻ります。





**分量-テスト** (技術スタッフがグラインド コントロールを有効化していない場合にのみ表示されます)

1

アイコンを押します。

2

+ - を押してグラインド時間を変更します。

3

アイコンを押し、設定をテストします。アイコンを押して変更を保存します。

**オーディオ**

オーディオ オン

オーディオ オフ

アイコン をそれぞれ押して、グラインダー/ディスペンサーの音響信号を有効化または無効化します。

**グラインダー クリーニング**

1

アイコンを押します。

2

ディスプレイがガイド付きのクリーニング サイクルを表示します。詳細は「クリーニング作業」の章を参照してください。

**プレスディスクのクリーニング (適用可能な場合)**

1

アイコンを押します。

2

アイコンを押し、電動プレスディスクを下げて、クリーニング操作を実行します。操作が終了したら アイコンを押して前のメニューに戻ります。プレスディスクは自動的に静止位置に戻ります。



13. BDS - バリスタ駆動システム - (技術スタッフにより起動できます)

BDS システムは、コーヒーマシンおよび Bluetooth で接続されている1個または2個の電動計量グラインダーから構成されています。

マシンのすべての分配ボタンは、レシピタイプおよび対応するグラインダー/ディスペンサーに応じて設定されています。

BDSシステムの目的は、ユーザーがコーヒーをグラインドし、分配する作業をガイドして、それによって操作をシンプルで直感的なものにすることにあります。

システムのアクティベーションおよび設定は、技術スタッフが行います。



日本語

動作論理

バリスタがフィルタホルダーの位置決めをして分量を選択します。

グラインダー/ディスペンサーは、グラインドされたコーヒーを正確な量だけ分配します。同時に、飲み物を作るためにど

の選択を有効にしたらいいかを伝える信号をマシンに送信します。

この時点では、バリスタはフィルタホルダーを取り付け、有効化されたキーを押して分配する以外、行うことはありません。



スタンバイ段階:



- 緑のアイコン。
- 有効化された分量のアイコン。
- コーヒーシュートの固定化のライトオン。マシン上のLEDキーがオフになります。



グラインドと有効化:



- 赤のアイコン。
- 無効化された分量のアイコン。
- コーヒーシュートのライトオフ (フィルタホルダーが取り除かれる前に点滅します) 関連のキーがマシン上で有効化されます。これは対応するLEDが点灯することで認識できます。

分配は2分間有効になっています。この時間中は、計量グラインダーの使用はブロックされるので、コーヒーの2回目の分量をグラインドすることはできません。

有効化されたキーを押すか、待機時間の2分間が過ぎると、ブロックは自動的に解除されます。



14. クリーニング作業

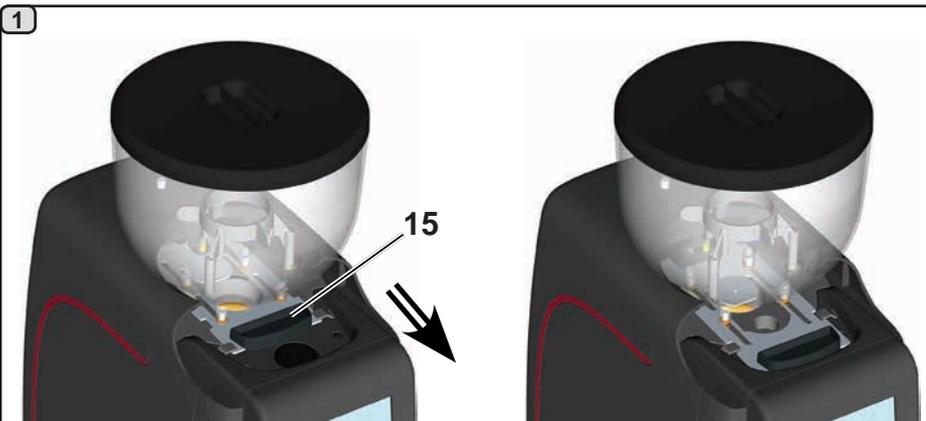
**!** 食品安全性システム (HACCP)の正しい適用については、このパラグラフの指示に従ってください。

**全般**  
グラインダー/ディスペンサーは定期的にクリーニングしてください。特にコーヒーと接触する箇所に注意を払ってください。  
クリーニングでは、以下の手順に従います。

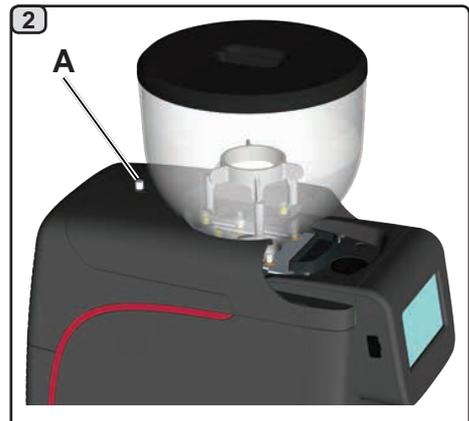
スイッチ (4) で常に機器のスイッチをオフにし、オムニポーター スイッチでメイン電源を切断してください。

**!** 機器を水に浸さないでください。

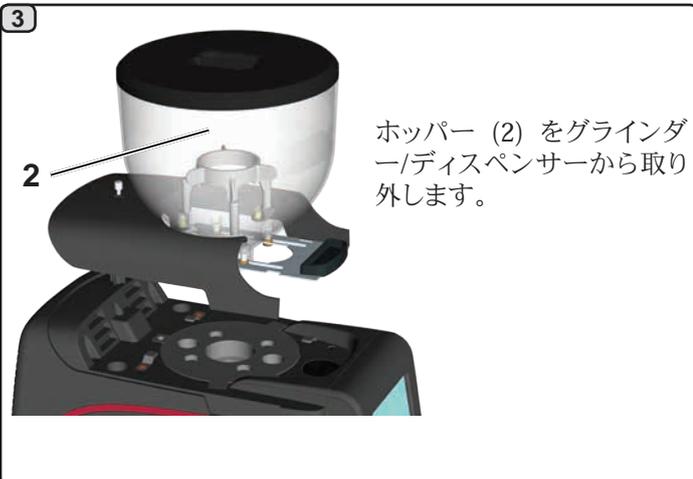
**営業日の終了に実行します。**  
**コーヒー豆容器のクリーニング**



シャッター (15) を外側に引いて閉じます。  
グラインドを開始し、すべての残っているコーヒーがグラインダー/ディスペンサーから空になるまで続けます。



固定用リング ナット (A) を外します。  
**!** ホッパーはシャッターが閉じている場合にのみ移動したり位置決めをすることができます。



ホッパー (2) をグラインダー/ディスペンサーから取り外します。



4 コーヒー豆容器(2)から残余のコーヒーを取り除きます。残留有機物を除去してください。  
特定製品EcoCleaner Spray (あるいは、食材と接触する箇所に対して類似品を使用) をクリーニングされる部分にスプレーしてください。

5 グラインダーが完全にきれいになるまで吸収性の濡れた布で拭き、必要に応じて乾かしてください。  
グラインダー/ディスペンサーにコーヒー豆容器 (2) を置く前に、すべての部品が完全に乾いていることを確認します。

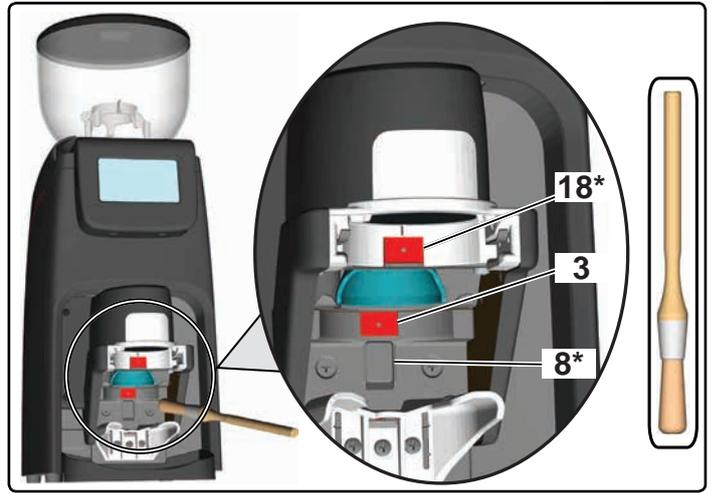
日本語



## センサー (適用可能な場合)

認識センサー (\*8) と存在検知センサー (3) および (18\*) を付属のブラシでクリーニングします。

\* 適用可能な場合。



## プレスディスクのクリーニング (適用可能な場合)

1

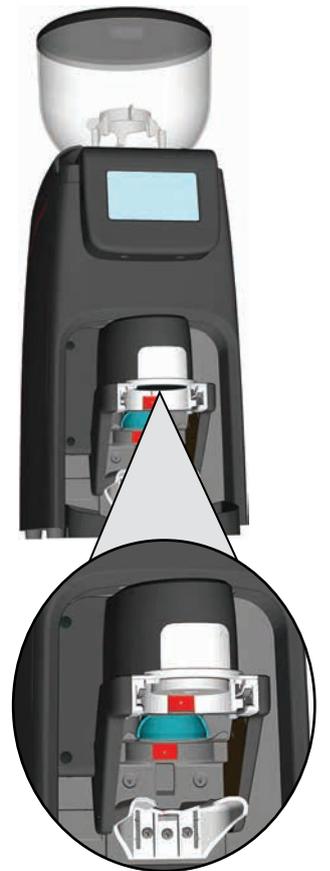
アイコンを押し、ユーザーメニューにアクセスします。

2

アイコンを押します。

3

アイコンを押し、電動プレスディスクを下げて、クリーニング操作を実行します。操作が終了したらアイコンを押して前のメニューに戻ります。プレスディスクは自動的に静止位置に戻ります。

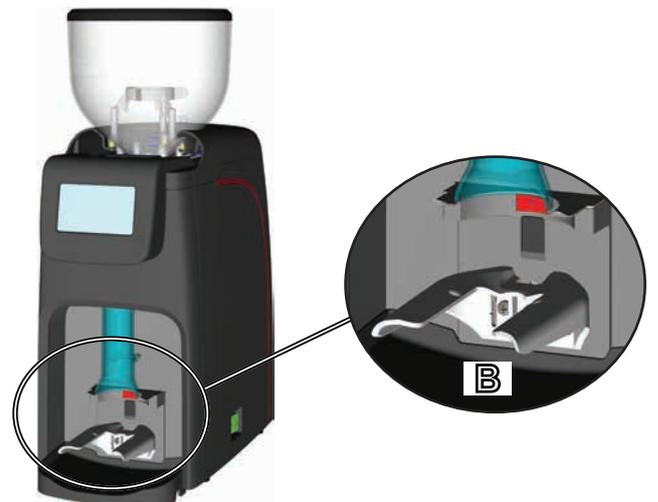


## 本体構造

柔らかい布とアンモニアや研磨材無しのクリーニング用品で、作業領域にある有機残留物を取り除きます。

備考: パネルスロットへ液体をスプレーしないでください。

クリーニングするときには、図 (B) に示された金属製のサポートフォークに十分な注意を払ってください。





グラインドされたコーヒーのダクト

1

キャップ (14) をグラインドされたコーヒー用シュートから取り除きます。

2

ダクトに同梱のブラシを挿入し、残っているコーヒー粉があればすべて取り除きます。

日本語

グラインドされたコーヒー用シュート

1

シュートは、グラインドされたコーヒーのダクト (C 上のキャップ) を取り外した後でクリーニングできます。

2

シュートに付属のブラシを挿入し、残っているコーヒー粉があればすべて取り除きます。

先の尖ったツールや物をコーヒー スライドの内側に置かないでください。



## 2週間ごとに行う必要のある作業

### グラインダー クリーニング

専用のメニューにアクセス後、グラインダー クリーニング サイクルの実行の指示がディスプレイ上のアニメーションで図示されます。

1

アイコンを押し、ユーザーメニューにアクセスします。

2

アイコンを押しします。

3

コーヒー ホッパーのシャッターを閉じてアイコン を押しします。

4

グラインダー/ディスペンサーがチャンバーとコンジットに残っているコーヒーのグラインドを完了するのを待ちます。その後、固定用リング ナットを外してホッパーのアセンブリを取り外します。 アイコンを押し、確認します。

5

EcoCleaner Grinder有機パウダー(または類似のグラインダー クリーニング用の製品)の小袋を入れ、アイコン を押しします。

6

ホッパーのアセンブリの位置決めをして、固定用リング ナットを締めます。 アイコンを押し、確認します。

7

有機パウダーのグラインドが完了するのを待ち、コーヒー ホッパーのシャッターを開けます。 アイコンを押し、確認します。

8

除去する必要があるコーヒーの小分量がグラインドされるのを待ちます。その後、 アイコンを押し確認します。

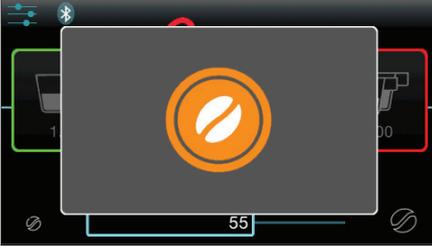
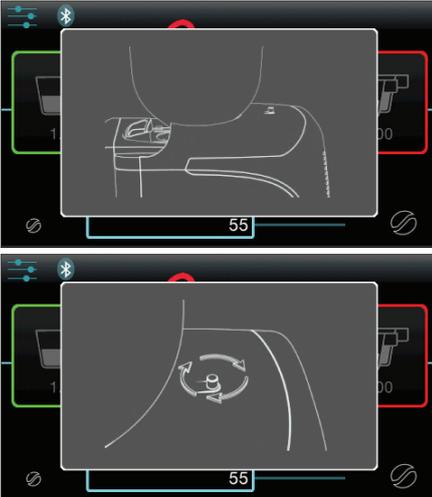
9

グラインダー/ディスペンサーがグラインダーのクリーニングサイクルを完了し、使用の準備が整います。



15. 洗浄に関する

日本語

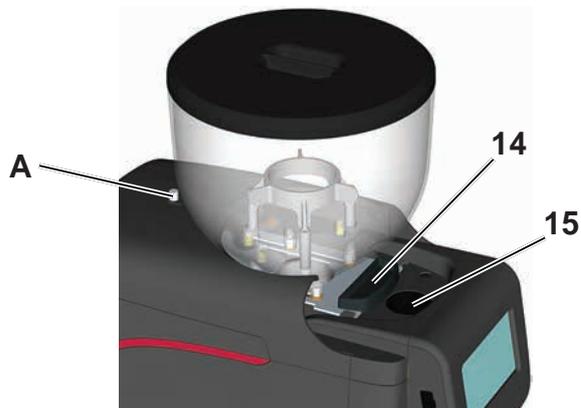
メッセージ	原因	解決策
	<p>コーヒーなし  (適用可能な場合)。</p>	<p>ホッパーにコーヒー豆を満たします。</p>
<p>アニメーション:</p> 	<p>マイクロスイッチがアクティブになっていません。</p>	<p>固定用リング ナット (A) を締めます。</p> 
<p>アイコン :</p> 	<p>固定用マイクロリング ナットが緩んでいる、またはモーターが過熱保護されている</p>	<p>固定用リング ナット (A) がしっかり締められているか確認してください。アイコンがディスプレイに表示されたままの場合は、技術サービスセンターに連絡してください。</p>
<p>交互のアイコン  :</p> 	<p>メンテナンスの実行 。</p>	<p>技術サービスセンターに連絡してください</p>



16. 欠陥 - 不具合

顧客による直接行動

サービス担当者に連絡する前に、不必要な出費を防止するため、マシンの問題が下に記載された事例のいずれかに当てはまるかどうかをチェックします。



問題	原因	解決策
機器が動作しない。そして、インジケータライトON (4) がオフになっている。	電気が通っていない。	電気がオンになっていることを確認してください。メインスイッチ (4) の位置を確認してください。
機器が動作しない。そして、インジケータライトON (4) がオンになっている。	固定用リング ナット (A) が正しく締められていない (安全マイクロスイッチが開いている)	固定用リング ナット (A) がしっかり締められているか確認してください。
機器は正しく動作するが、グラインドされたコーヒーが出てこない。	ホッパー シャッター (15) が閉じている。 ホッパーのコーヒーが完了している。 ホッパーの中で不具合による詰まりが生じている。 グラインダー同士が接触している、あるいは過剰な量のグラインドされたコーヒーがグラインダー間にある。	シャッター (15) を内側に押し、コーヒーがグラインダーに流れるようにします。 ホッパーをコーヒーで満たします。 手でコーヒー豆をホッパーの中へ移します。 使用中のグラインダーをゆるめてクリーニングします。
グラインドされたコーヒーがフィルタホルダーの中心に落ちてこない。	キャップ (14) が正しく挿入されていない。 金属製ディストリビュータが変形している。	キャップ (14) の位置をチェックしディストリビュータに問題がないことを確認してください。
フィルタホルダーがフォーク (7) から落ちてくる。	フォークが正しく調整されていない。	特別なツールを使用してフォーク (7) の高さを調整します。
機器がグラインドの段階で異常な騒音を出す。	グラインド用チャンバーに異物が混入している可能性がある。	シャッター (15) を閉じて、チャンバーが空になるまで残っているコーヒーをグラインドします。問題が継続する場合は、技術サービスセンターに連絡してください。

サービスライン

GRUPPO CIBALIおよび「サービスライン」

GRUPPO CIBALI社のクライアントサービスの目的は、弊社のクライアントに最高のコーヒーグラインダーのパフォーマンスを常に保証し、この目的のために特別に開発された一連の特殊なクリーニング用製品である弊社のECO LINEを提供することにあります。ECO LINE - クリーニング用製品

A) ホッパー、コーヒーシュート、ディスプレイ用 プロフェッショナル クリーニング Eco Cleaner Spray 610-004-251。

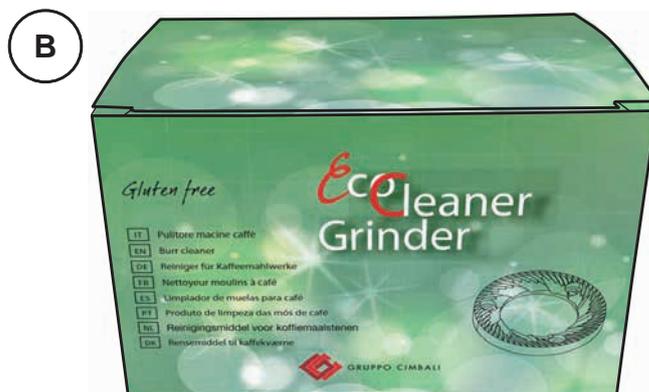
B) バー クリーナー用 Eco Cleaner Grinder (小袋入り) 610-004-252。

地域の販売代理店に直接注文してください。ご希望のアイテムについて上記の番号を指定してください。

GRUPPO CIBALI S.p.A.  
Via A. Manzoni, 17  
20082 Binasco  
(MI) Italy

GRUPPO CIBALIは、個々の国のニーズに応じて、およびテクノロジー上の進捗状況に基づいてマシンに変更を加える権利を有するものとします。  
この出版物はGRUPPO CIBALI S.p.A.の書面による事前の承諾がない限り、全部、一部に関わらず、使用、コピー、または出版してはいけません。

© Copyright by GRUPPO CIBALI S.p.A., Milan, Italy  
不許複製



メーカーは、この資料で示された器具を通知なく修正する権利を  
有するものとします

GRUPPO CIMBALI SpA - 20082 BINASCO (MILANO) ITALY



CERT. NR. 50 100 3685 / 10877 / 11721